

2010年3月期 決算説明会プレゼンテーション資料

2010年4月30日
TDK株式会社

目次

ページ

4. 2010年3月期 連結業績概要 及び 2011年3月期の連結業績見通し
代表取締役 社長 上釜 健宏

10. 2010年3月期 連結業績概要
経理部長 桃塚 高和

19. セラミックコンデンサ事業について
セラミックコンデンサビジネスグループ
取締役 常務執行役員 General Manager 荒谷 真一

22. HDD用ヘッド事業について
ヘッドビジネスグループ
執行役員 General Manager 小林 敦夫

24. 補足資料

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDKグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

**2010年3月期 連結業績概要
及び
2011年3月期の連結業績見通し**

**2010年4月30日
TDK株式会社
代表取締役 社長
上釜 健宏**

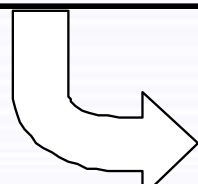
2010年3月期 連結業績 概要

(単位:百万円, %)

科 目	前 期 (2008.4.1~2009.3.31)		当 期 (2009.4.1~2010.3.31)		増 減	
	金 額	売上高比	金 額	売上高比	金 額	増減率
売 上 高	727,400	100.0	808,858	100.0	81,458	11.2
営 業 利 益 (△ 損 失)	△ 54,305	△ 7.5	25,774	3.2	80,079	-
税引前当期純利益(△損失)	△ 81,630	△ 11.2	21,907	2.7	103,537	-
当社株主に帰属する当期純利益(△損失)	△ 63,160	△ 8.7	13,520	1.7	76,680	-
1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(△損失)金額: — 基本	△ 489円 71銭		104円 82銭			

(単位:億円)	前 期	当 期
一時費用	380	130

売上換算レート	前 期	当 期	変 化
US\$ = Yen	100.7	92.9	7.8%円高
Euro = Yen	144.1	131.2	8.9%円高



為替影響 ... 売上高
営業利益

約452億円の減収
約139億円の減益

2010年3月期 (2010年4月30日)

決算の特徴

◆エレクトロニクス市場

- セット製品は前期末に底入れし当期末にかけて増加基調
- 新興国市場の回復にともないセット製品の2極化が加速
- 金額ベースでの市場規模は生産台数ほどには回復せず

◆TDKグループ

- 受動部品,HDDヘッドともに出荷数量は回復傾向
- 構造改革による損益改善効果

2011年3月期 連結業績 見通し

(単位:億円)	2010年3月期		増減額	2010年4月30日
	通期	実績		2011年3月期
売上高	8,089	8,800	711	8.8%
営業利益	258	620	362	140.6%
税引前当期純利益	219	600	381	173.9%
当期純利益	135	450	315	232.8%
為替レート (U.S.\$=Yen)	93	87 *		

* 2011年3月期の対米ドルと対ユーロ円平均レートは、各々87円、130円を想定しております。
当期純利益は「当社株主に帰属する当期純利益」です。

2011年3月期 注力する分野・製品

◆ ブロードバンド分野

➤ スマートフォン市場の拡大

- ✓ 高周波部品売上げ拡大 <= EPCOS統合シナジー効果

◆ カーエレクトロニクス分野

➤ HEV/EV市場の拡大

- ✓ DC-DCコンバーター
- ✓ トランス
- ✓ フィルムコンデンサー

2011年3月期 注力する分野・製品

◆ 情報家電分野

- フラットTV、PC市場の拡大
 - ✓ HDDヘッド
 - ✓ 受動部品全般へ受注拡大要因

◆ その他の市場

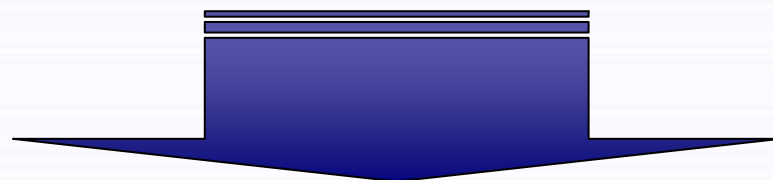
- 産業機器市場の回復
 - ✓ スイッチング電源
 - ✓ アルミ電解コンデンサー
 - ✓ フィルムコンデンサー

2010年3月期 連結業績概要

2010年4月30日
TDK株式会社
経理部 桃塚 高和

2010年3月期 連結業績 補足

当期 (単位:百万円、%)	TDK (EPCOS除く)		EPCOS		EPCOS のれん償却費用 金額
	金額	売上高比	金額	売上高比	
売上高	639,890	100.0%	168,968	100.0%	
営業利益	31,690	5.0%	△ 1,480	-0.9%	△ 4,436
税引前当期純利益	28,616	4.5%	△ 1,888	-1.1%	△ 4,821
当期純利益	21,424	3.3%	△ 5,121	-3.0%	△ 2,783



当期 (単位:百万円、%)	TDKグループ	
	金額	売上高比
売上高	808,858	100.0%
営業利益	25,774	3.2%
税引前当期純利益	21,907	2.7%
当期純利益	13,520	1.7%

売上高・営業利益の前年同期比較(4Q)

(EPCOSを除く)

(単位:億円)	前第4四半期	当第4四半期	増減	増減率(%)
電子材料	209	345	136	65.1
電子デバイス	290	382	92	31.6
記録デバイス	388	721	332	85.7
その他	182	207	25	13.5
売上高合計	1,070	1,655	585	54.7
営業利益	△ 527	84	611	-

(EPCOS)

(単位:億円)	前第4四半期	当第4四半期	増減	増減率(%)
売上高	321	459	138	42.9
営業利益 *	△ 57	12	69	-
のれん償却費用	△ 52	△ 13	39	

* のれん償却費用控除前

(合計)

(単位:億円)	前第4四半期	当第4四半期	増減	増減率(%)
売上高	1,391	2,113	723	52.0
営業利益	△ 636	83	719	-

2010年3月期 (2010年4月30日)

13

連結損益計算書

(単位:百万円, %)

科 目	前 期 (2008.4.1~2009.3.31)		当 期 (2009.4.1~2010.3.31)		増 減	
	金 額	売上高比	金 額	売上高比	金 額	増減率
売 上 高	727,400	100.0	808,858	100.0	81,458	11.2
売 上 原 価	605,943	83.3	617,776	76.4	11,833	2.0
売 上 総 利 益	121,457	16.7	191,082	23.6	69,625	57.3
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	159,878	22.0	160,386	19.8	508	0.3
リストラクチャリング費用	15,884	2.2	4,922	0.6	△ 10,962	△ 69.0
営 業 利 益 (△ 損 失)	△ 54,305	△ 7.5	25,774	3.2	80,079	-
営 業 外 損 益 :						
受取利息及び受取配当金	3,980		3,130		△ 850	
支 払 利 息	△ 2,336		△ 4,010		△ 1,674	
関 連 会 社 利 益 持 分	△ 17,011		△ 1,678		15,333	
有 価 証 券 関 連 損 益 (純 額)	△ 6,388		△ 1,363		5,025	
為 替 換 算 差 益 (△ 損 失)	△ 5,392		△ 1,118		4,274	
そ の 他	△ 178		1,172		1,350	
計	△ 27,325	△ 3.7	△ 3,867	△ 0.5	23,458	-
税 引 前 当 期 純 利 益 (△ 損 失)	△ 81,630	△ 11.2	21,907	2.7	103,537	-
法 人 税 等	△ 17,041	△ 2.3	9,025	1.1	26,066	-
非支配持分控除前当期純利益(△損失)	△ 64,589	△ 8.9	12,882	1.6	77,471	-
非支配持分帰属利益(△損失)	△ 1,429	△ 0.2	△ 638	△ 0.1	791	-
当社株主に帰属する当期純利益(△損失)	△ 63,160	△ 8.7	13,520	1.7	76,680	-

2010年3月期 (2010年4月30日)

14

営業利益増減分析(前年同期比)

営業利益 801億円増加 の内訳

(単位:億円)

【営業利益増減 合計】	801
売上増による利益変動(操業度、品種構成含む)	455
合理化・コストダウン・原材料値下げ	502
販売費及び一般管理費減 (構造改革費用264億円減含む)	239
為替変動 (1U.S.\$=Yen 100.7 -> 92.9)	-128
売価値引き (5.4%)	-348
EPCOS 営業利益増	73
EPCOS のれん償却費用	8

連結貸借対照表(資産の部)

(単位:百万円, %)

資 産 の 部						
科 目	期	前 期 末 (2009.3.31現在)		当 期 末 (2010.3.31現在)		増 減
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額
流 動 資 産		481,157	43.7	537,747	49.3	56,590
現金及び現金同等物		165,705		132,984		△ 32,721
短 期 投 資		23,993		67,873		43,880
有 価 証 券		17,968		22,405		4,437
売 上 債 権		122,711		169,349		46,638
た な 卸 資 産		105,684		105,069		△ 615
その他の流動資産		45,096		40,067		△ 5,029
固 定 資 産		619,879	56.3	553,711	50.7	△ 66,168
投 資		35,047		38,324		3,277
有 形 固 定 資 産		348,645		318,205		△ 30,440
その他の資産		236,187		197,182		△ 39,005
資 産 合 計		1,101,036	100.0	1,091,458	100.0	△ 9,578

連結貸借対照表(負債及び純資産の部)

(単位:百万円, %)

負債及び純資産の部					
科 目	前 期 末 (2009.3.31現在)		当 期 末 (2010.3.31現在)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
流動負債	199,621	18.1	251,377	23.0	51,756
短期借入債務	71,049		79,946		8,897
一年以内返済予定の 長期借入債務	3,497		10,554		7,057
仕入債務	50,970		84,988		34,018
未払費用等	63,314		63,249		△ 65
未払税金	1,942		3,541		1,599
その他の流動負債	8,849		9,099		250
固定負債	338,374	30.8	290,412	26.6	△ 47,962
長期借入債務	210,083		179,554		△ 30,529
未払退職年金費用	98,007		84,304		△ 13,703
繰延税金	14,284		11,312		△ 2,972
その他の固定負債	16,000		15,242		△ 758
(負債合計)	537,995	48.9	541,789	49.6	3,794
資 本 金	32,641		32,641		-
資本剰余金	64,257		61,124		△ 3,133
利益準備金	20,772		21,823		1,051
その他の利益剰余金	605,622		606,445		823
その他の包括利益 (△損失)累計額	△ 162,741		△ 172,092		△ 9,351
自 己 株 式 (株主資本計)	△ 6,333 554,218		△ 6,185 543,756		148 △ 10,462
非支配持分 (純資産合計)	8,823 563,041	0.8 51.1	5,913 549,669	0.6 50.4	△ 2,910 △ 13,372
負債及び純資産合計	1,101,036	100.0	1,091,458	100.0	△ 9,578

2010年3月期 (2010年4月30日)

17

2010年3月期 構造改革費用とその効果

- ◆ 2010年3月期構造改革費用:130億円
- ◆ 2011年3月期効果金額(見込み):100億円程度

セラミックコンデンサ事業について

2010年4月30日

セラミックコンデンサ ビジネスグループ
取締役、常務執行役員、General manager
荒谷 真一

2010年3月期 実施した施策

- ✓ 国内製造拠点の集約（8箇所=>4箇所）
=> 効果は生産効率向上
- ✓ リストラおよび整流化に伴う設備・人員再配置
=> 効果は一貫生産体制と、費用のスリム化
- ✓ 生産性改善やコスト改善の推進
=> 効果は変動費比率の改善

事業基盤の再構築と収益改善

2011年3月期 実施予定の施策

- ✓ 海外テーピング拠点の集約(8箇所=>4箇所)
=> 効果は固定費削減を見込む
- ✓ 更なる生産性改善やコスト改善の追求
=> 効果は変動費比率の改善を見込む
- ✓ 市場変化に応じた生産体制と製品開発の確立
=> 顧客価値の再構築へ

基盤固めから成長ステージへ

HDD用ヘッド事業について

2010年4月30日
ヘッドビジネスグループ
執行役員、General manager
小林 敦夫

ヘッドビジネスグループ

2010年3月期 売上実績 及び 2011年3月期 売上見込

(億円)

2010年3月期
売上実績

2011年3月期
売上見込

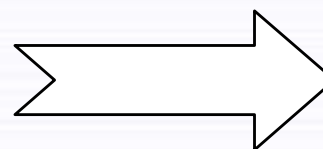
上期計

1,334

1,503

下期計

1,456



1,534

通期計

2,790

3,037

2010年3月期
連結決算 補足資料

2010年4月30日
広報部

設備投資額、減価償却費、研究開発費の実績と見通し

2010年4月30日

単位: 億円	2010年3月期 実績	2011年3月期 見込み
設備投資額	644	750
減価償却費	838	820
研究開発費 (対売上高比率)	539 6.7%	530 6.0%
<売上高>	8,089	8,800

2010年3月期 (2010年4月30日)

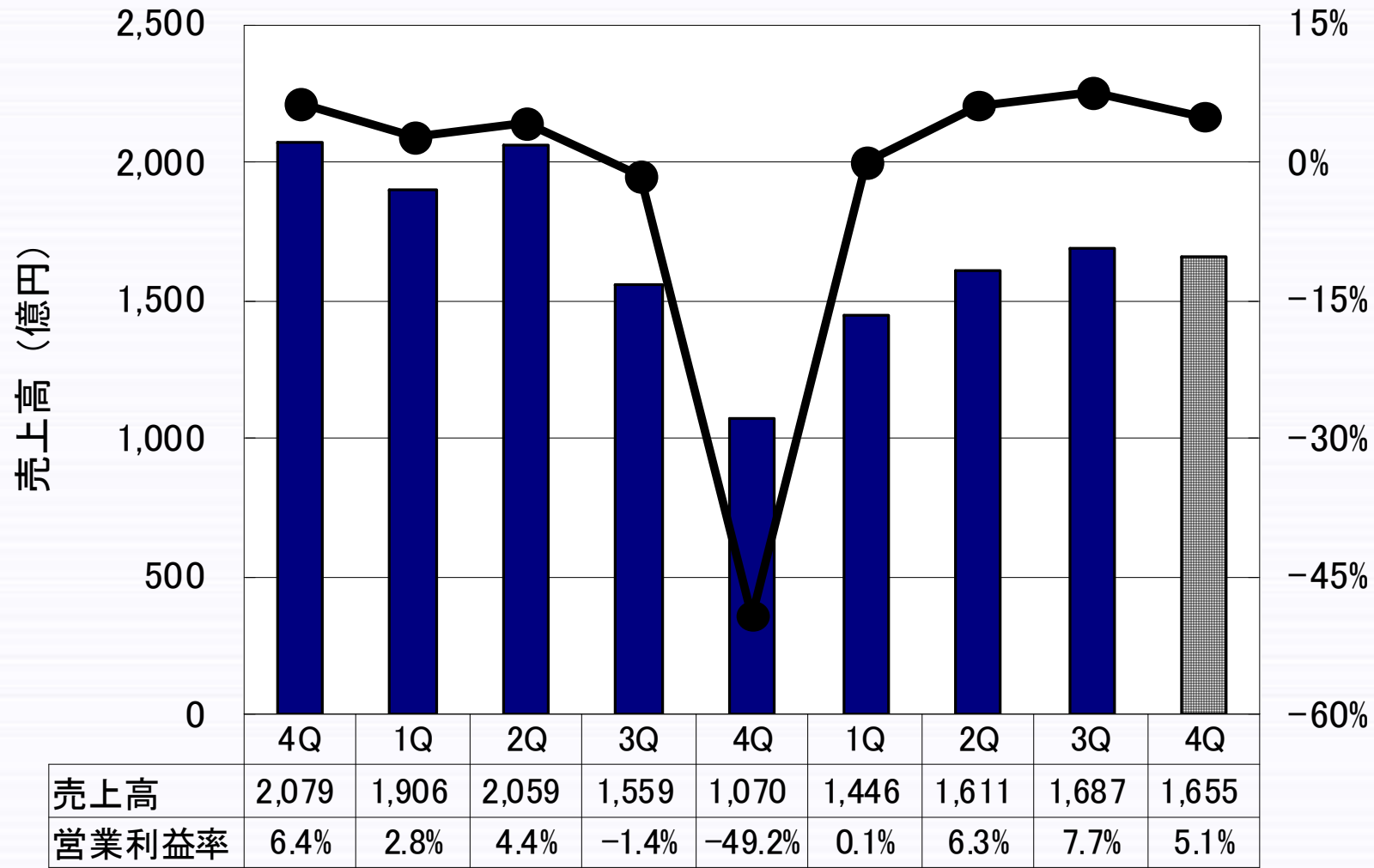
25

分野別売上高

	前年同期比		構成比
情報家電分野	0%	－	65%
高速大容量ネットワーク分野	13%	減	10%
自動車分野	8%	増	9%
その他	10%	減	16%

記録メディア製品とEPCOS製品の売上高を除く。

四半期売上高と営業利益推移 (EPCOS除く)



2008年3月期

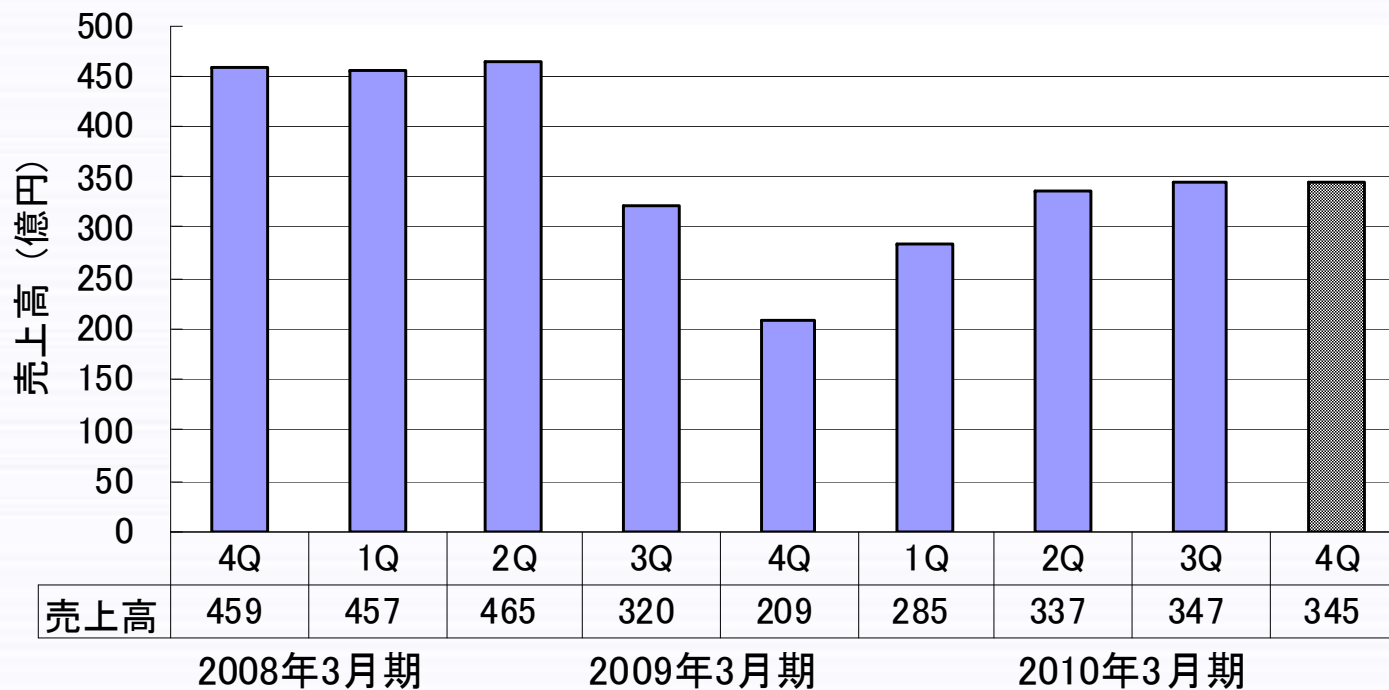
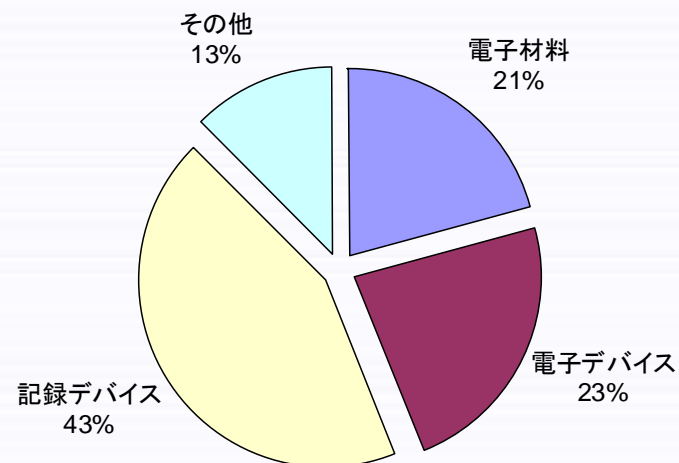
2009年3月期

2010年3月期

2010年3月期 (2010年4月30日)

電子材料の売上高推移 (EPCOS除く)

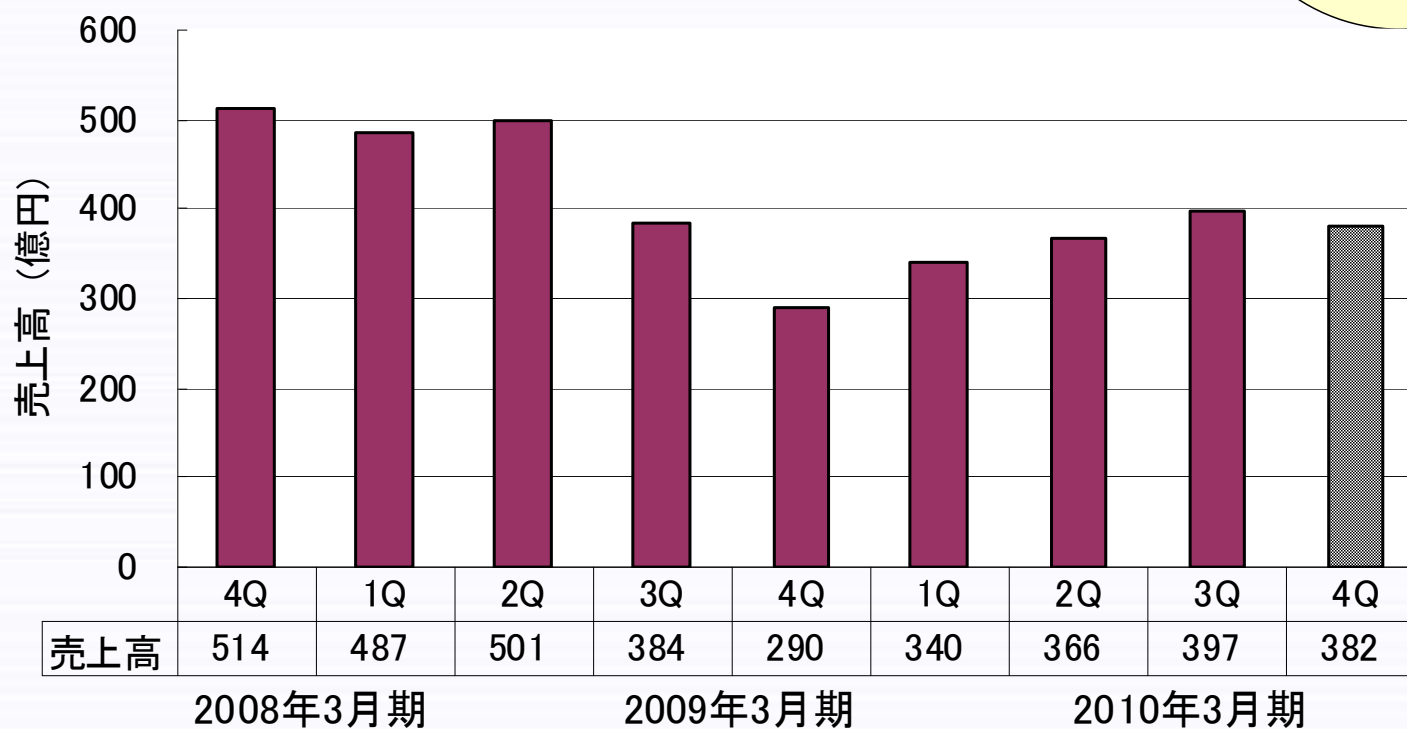
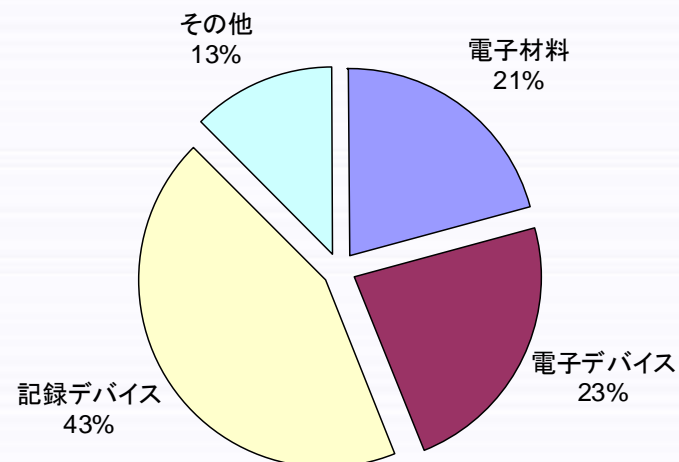
製品別売上高構成比(2010年3月期第4四半期)



電子デバイスの売上高推移

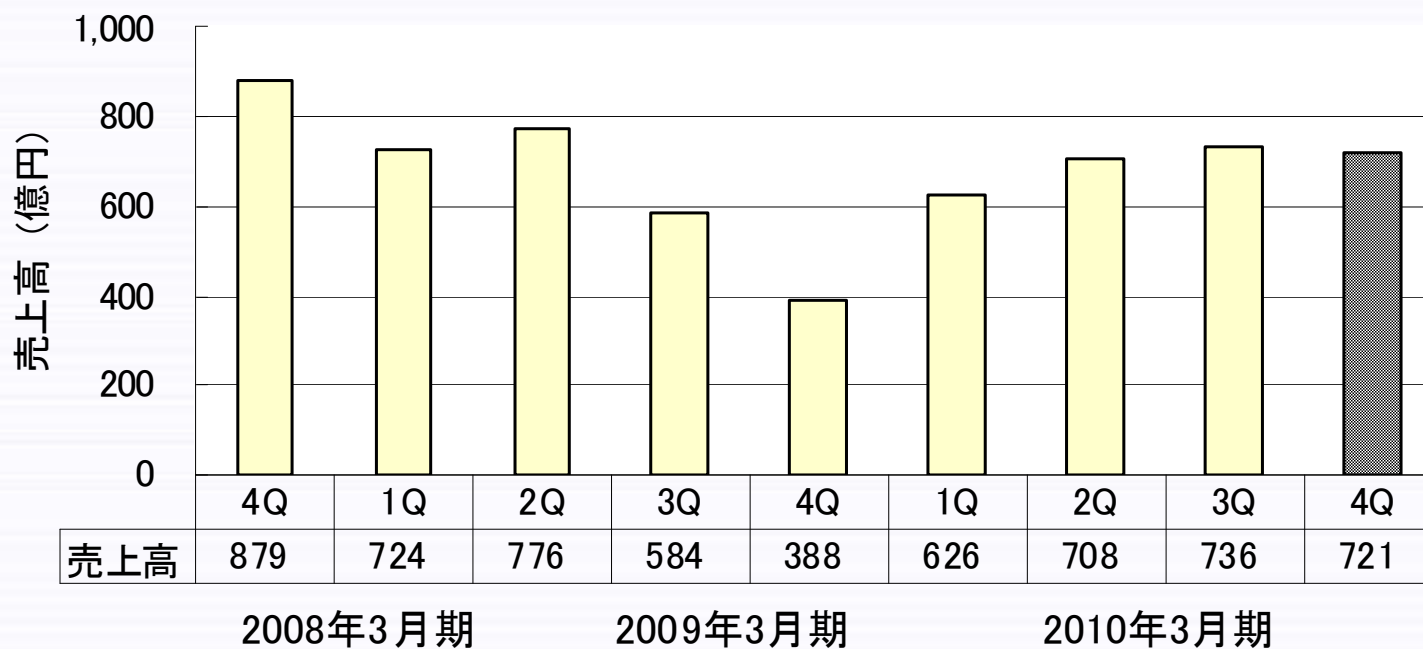
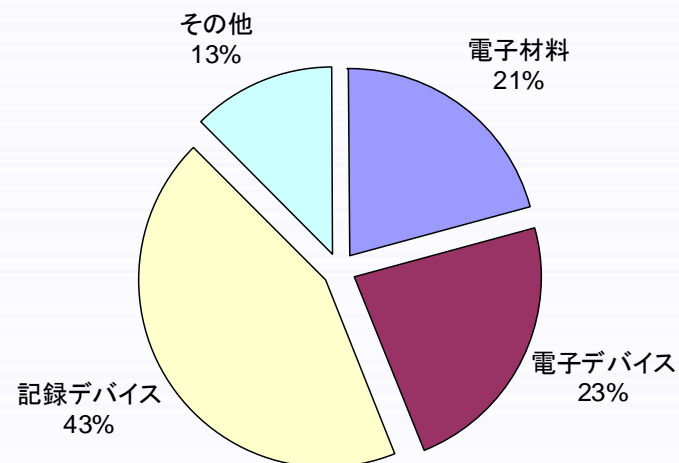
(EPCOS除く)

製品別売上高構成比(2010年3月期第4四半期)



記録デバイスの売上高推移 (EPCOS除く)

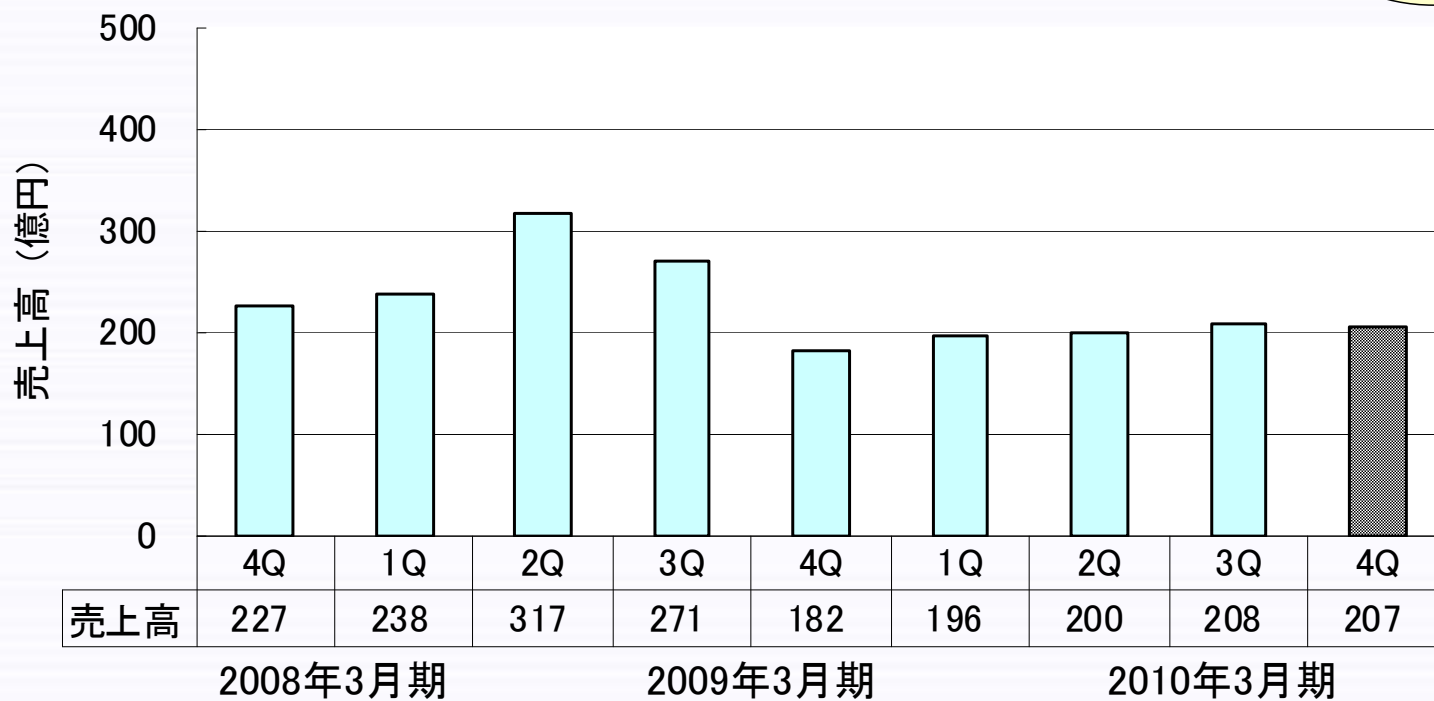
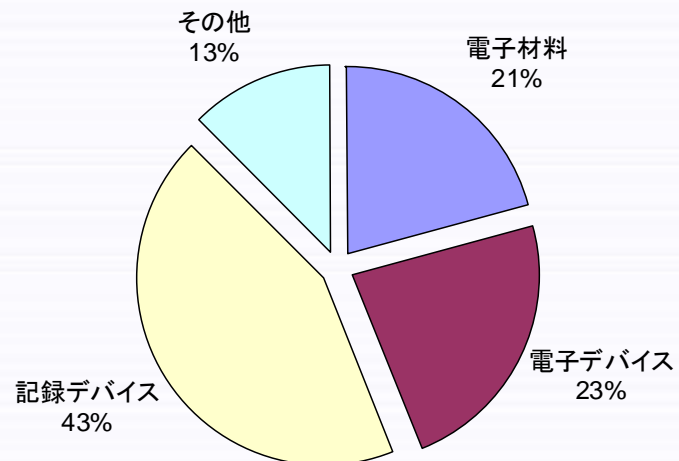
製品別売上高構成比(2010年3月期第4四半期)



その他の売上高推移

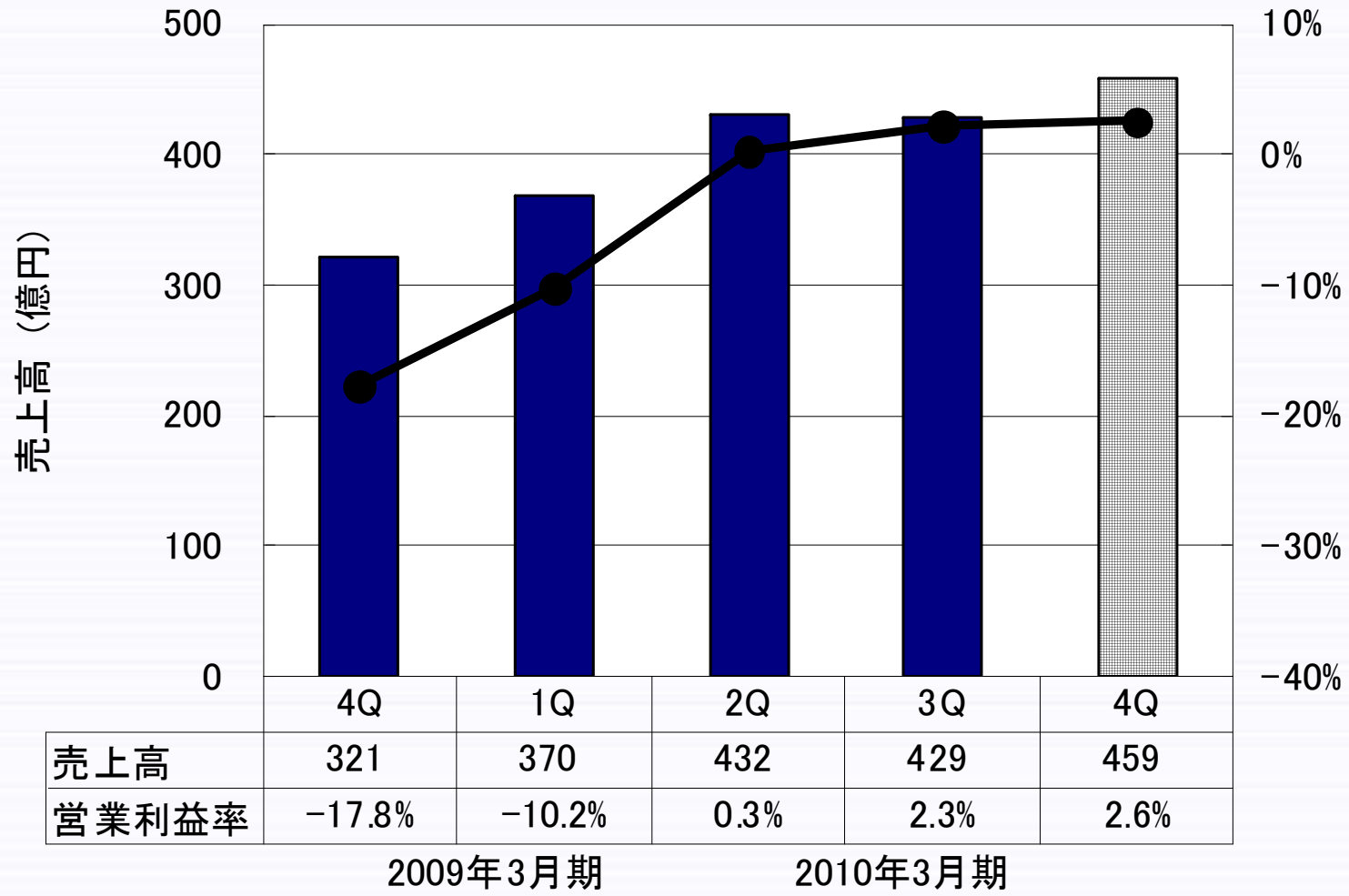
(EPCOS除く)

製品別売上高構成比(2010年3月期第4四半期)



EPCOS業績 (のれん償却費用控除前)

四半期 売上高と営業利益率推移





プレゼンテーション資料に関する注記

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信付属資料を参照していただきますようお願いいたします。